

Shibaura Machine

回生放電ユニット取扱説明書

このたびは、当社製品“回生放電ユニット”をお買い上げくださいます、誠にありがとうございました。

この取扱説明書を熟読ご理解頂き、取り扱いに十分注意しながら適切にご使用ください。

この取扱説明書は、後々まで保存をお願いします。

1. 用途

軸本体のモータが減速時に発生する発電エネルギーを回生放電ユニット内の回路で吸収させるものです。負荷イナーシャが許容値を越える場合や発電量が多くなる場合に使用し、コントローラでの過電圧発生を防止します。

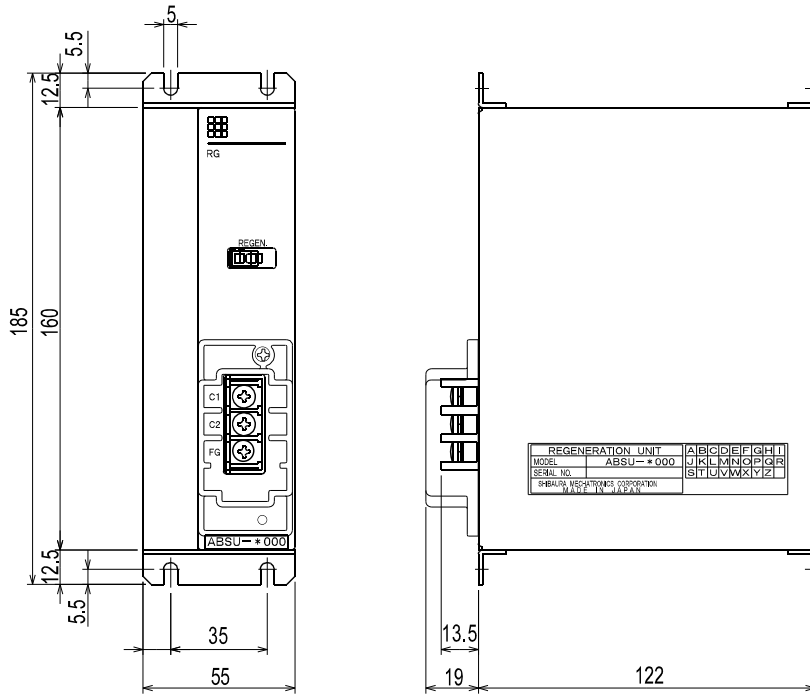
2. 仕様

形式	ABSU-1000	ABSU-2000	備考
回生動作電圧	DC190V	DC420V	
保護機能	放電抵抗温度150℃で温度リレー動作。 出力接点：1b		接点容量 AC125V/4A AC250V/4A
適用コントローラ	CRLAC-B1A* CM2AC-B2A*	CA25-M10/S10 CA20-M10/S10 CA10-M10/S10	*：1～7で電圧 仕様を表示
周囲条件	設置場所	室内	
	使用周囲温度	0～40℃	
	使用周囲湿度	30%～90%RH 結露なきこと	
	使用周囲雰囲気	腐食性ガスのないこと	
	保存周囲温度	-20～70℃	
	保存周囲湿度	30%～90%RH 結露なきこと	
	保存周囲雰囲気	腐食性ガスのないこと	
	振動	9.8m/s ² 以下	
外形寸法	55(W)×160(H)×122(D)		取付金具含まず
質量	0.78kg		

注意

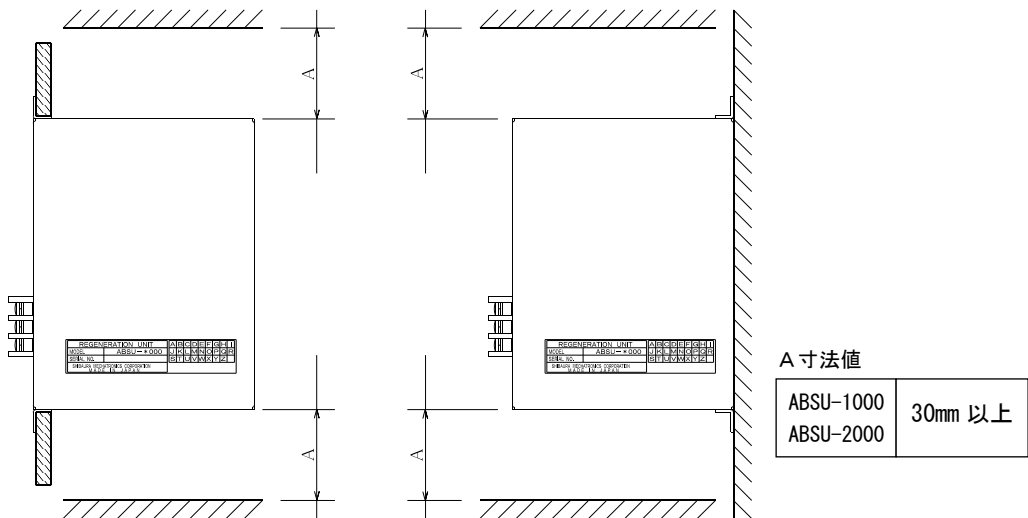
適用コントローラ以外のコントローラを組み合わせで使用した場合、回生放電ユニットは故障したり、動作しない場合があります。特にCAコントローラにABSU-1000を使用した場合、即、故障の原因となります。

3. 外形寸法



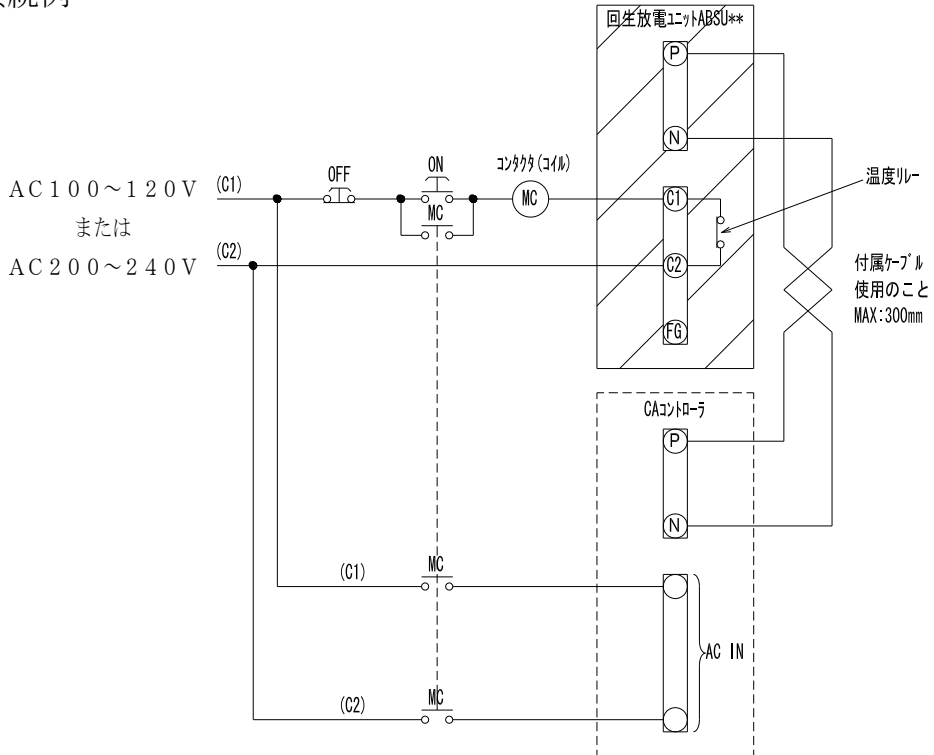
4. 設置

本機は対流による自然冷却方式を採用しています。設置の際は下図のように縦置きとし、上下の通気孔をふさがないように下表のスペースをとってください。外形寸法通気が不完全ですと十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因にもなります。



通気孔から回生放電ユニット内部に、液体、ゴミ等の異物が入らないようにしてください。尚、本機は防塵構造になっておりません。塵埃の多い場所での使用は避けください。

5. 接続例

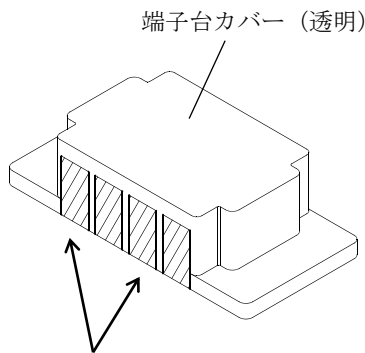


6. 使用上の注意

- ・回生放電ユニット放電抵抗には、150℃になると動作する温度リレーが内臓されています。
- ・このリレーが動作すると、回生放電ユニット出力端子C1-C2間がオープンになります。
- ・温度リレー動作時、必ずコントローラが停止するようにシーケンスを組んでください。
- ・温度リレーは一旦動作すると、リセット（正常状態に復帰）するまでに、3分程度必要です。

7. 付属端子台カバーの使い方

端子台への配線後、感電防止の為、付属の端子台カバーを必ず取付けてください。
端子台カバーは、配線取り出し方向を確認の上、加工してお使いください。



太線部に切り込みを入れ、根元（斜線部）を折り曲げてください。

リード線取り出し口を設ける為、必要に応じてニッパー（又はカッター）等で左図のごとく斜線部を取り除いてください。反対面側からの取り出しも可能です。